

千葉大学医学部附属病院アレルギー・膠原病内科で 診療を受けられた患者の皆様、ご家族の皆様へ

2026年 2月 18日
アレルギー・膠原病内科
人工知能（AI）医学

アレルギー・膠原病内科と人工知能（AI）医学教室では、膠原病（関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、全身性強皮症、多発性筋炎・皮膚筋炎など）の患者さんの診療データを用いて、病気の進み具合だけでは説明できない健康状態の違いを調べる研究を行っています。以下に示す方の診療情報を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

1984年1月1日から2023年12月31日の間にアレルギー・膠原病内科で膠原病の診療を受けられた方のうち、先行研究「臨床情報分析プラットフォームの体制構築」（受付番号：HK202412-04）に情報が登録された方

1. 研究課題名

「膠原病の縦断的臨床データに基づく疾患進行度と健康状態の多次元解析」

2. 研究期間

2026年承認日～2029年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院 観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

膠原病にはさまざまな種類（関節リウマチ、全身性エリテマトーデスなど）がありますが、病気の進み具合が同じくらいであっても、全身の調子や体力には大きな個人差が

あることが知られています。

この研究では、過去の診療で得られた血液検査などのデータをコンピュータで解析し、病気の進み具合を数値化するとともに、病気の進み具合だけでは説明できない「健康に関わる指標」を見つけ出すことを目指します。

具体的には、以下のことを調べます。

- ・複数の膠原病に共通して適用できる方法で、病気の進み具合を推定できるか
- ・病気の進み具合とは別に、健康状態に関わる特徴を見つけ出せるか
- ・見つかった特徴が病気の悪化などに関連するか

この研究では、先行研究「臨床情報分析プラットフォームの体制構築」（受付番号：HK202412-04）で作成されたデータベースに含まれる情報を使用します。新たに検査や採血を行うことはありません。お名前などの個人を特定できる情報は含まれていない状態で解析を行います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、試料（血液や組織など）は使用しません。以下の診療情報のみを使用します。

- ・患者背景情報：年齢、性別、身長、体重、診断名、罹病期間
- ・血液検査・尿検査の結果
- ・疾患活動性に関わる指標
- ・処方情報
- ・転帰情報（入院の有無など）

これらの情報は、先行研究（HK202412-04）のデータベースから、お名前等の個人を特定できる情報を含まない状態で取得します。

5. 研究組織（試料・情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学大学院医学研究院

研究責任者：人工知能（AI）医学 教授 川上英良

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で用いる情報は、先行研究（HK202412-04）において既にお名前等の個人を特定できる情報が削除された状態であり、どなたのものかわからないよう加工されていま

す。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で
行われます。

7. 研究に関する相談窓口について

本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

千葉大学大学院医学研究院 人工知能（AI）医学

教授 川上英良

043（222）7171